

そこに、応える。

## エプソンPC導入事例



株式会社リステック  
<https://www.re-stec.co.jp/>



**エプソンの技術を活かし、高い耐久性と静音性、排熱性を実現  
 オールインワン型サーバーで、中小企業のIT活用を支える**

### 協業の ポイント

- ・過酷な環境に耐え得る筐体など、高度な開発力
- ・国内生産ならではの短納期ときめ細かな部材管理
- ・全国をカバー、迅速な対応が可能なサポート体制

### リステックのビジネス

#### 必要な機能と使いやすさを一つのサーバーに統合 IT部門を持たない中小企業のIT活用を支援

中小規模の事業所を顧客に、アクセス権限管理やログ管理などが可能なファイルサーバー、リモートからのアクセスを支援するSSL-VPN、社員用のPCのバックアップツールなど、求められる機能をパッケージした「Restec Server・Restec Security System」を提供。誰もが、安心、安全に活用できるIT基盤を提供しているのが、株式会社リステックだ。潤沢なIT予算を持たず、ITに特化した人材の確保も難しい中小規模の事業所にとっては、IT導入による業務刷新を現実化してくれる心強いパートナーでもある。

### 開発の背景

#### 求められたのは、高度な開発力と柔軟で迅速な保守サポート

「サーバーなどのハードウェアの場合、ユーザーから、直接メーカーへと修理依頼することが一般的だと思いますが、当社の場合、リステックのサポート部門が修理依頼を受け、ハードウェアメーカーにエスカレーションすることになります」というのは、営業企画という立場から顧客対応と製品開発の両面に携わる堀井権人氏だ。障害が、ハードウェアに起因するものなのか、周辺機器なのか、OS・アプリケーションなのか、IT管理者のいない環境では判断することが難しい。必然的に、リステック側ですべての障害、不具合の対応を行うことになる。「ハードウェアメーカーによっては、そうした仕組みに柔軟に対応いただけないところもあります」と堀井氏。リステックでは、しっかりした製品開発・製造が可能だけでなく、保守サービスの全国ネットワークを持ち、なおかつ柔軟な対応が可能なメーカーとのパートナーシップを模索していた。

### エプソンとの協業の理由

#### エントリーサーバー開発の機会をキャッチ、PCでの評価も考慮

「ハードウェアとしての耐久性が高く、過酷な環境でも安定した性能を発揮できる製品を開発できることと同時に、当社のニーズを満たす保守サービスのネットワークを持っていること。そんな条件を満たすパートナー企業を検討し始めたのは、2018年ごろです」と堀井氏。国内外のサーバーメーカーを比較・検討するなか、候補にあがったのが、ちょうど同時期に中小企業向けエントリーサーバーの開発に着手していたエプソンだった。「2019年初頭に要件を提示して、すぐに試作機を提供いただきました。もともと製造や供給の体制については心配していませんでしたし、企業向けPCの実績、サポートに対する評価も高い会社でしたから、パートナーとしてエプソンをセレクトするのは、自然な流れだったように思います」（堀井氏）。



株式会社リステック  
 営業企画室 室長代理  
 堀井 権人氏

## エプソンとの協業のメリット1

## 中小企業ならではのきびしい要件に、その開発力に対応

リストックの顧客では、事務所の片隅や場合によっては工場内にしか設置スペースを確保できないといった場合も多く、高い防塵性や静音性、熱対策なども必要になる。エプソンでは、そんなリストックの要望を受け、例えば筐体サイドパネルの通風口をなくすことで防塵性を高めつつ、筐体内部のエアフローを効率化して排熱性を高めるといった取り組みを行っている。堀井氏によれば、「筐体そのもののエアフロー設計だけでなく、クーリングファンの性能にもこだわって仕様を検討いただいたことで、排熱と静音性については、満足できるものになりました。特に静音性については、耳を近づけないと、動作しているかどうかわからないくらいのレベルだと思います」とのことだ。

## エプソンとの協業のメリット2

## 故障率の低さと短納期で、社内在庫の最適化を支援

2019年10月、エプソンとの協業によるRestec Serverはリリースされた。「要件定義から1年足らずと、非常にスピード感のある開発でした」と堀井氏。エプソンの開発部門と、直接、十分なコミュニケーションをとれたこともあって、開発には大きなトラブルもなく、リリースまでのプロセスは順調だった。現在、エプソンでは、専用の製造ラインを用意して、Restec Server-Restec Security Systemの製造に取り組んでいる。故障率が非常に低だけでなく、発注から納品まで一週間ほどという短納期を実現していることもあって、社内在庫の圧縮も可能になった。「ハードディスクなど部材の仕様変更も事前に通知いただけるので、検証期間が十分にとれるのもメリットですね」（堀井氏）。

## エプソンとの協業のメリット3

## ミスのない対応と翌日訪問修理で、ダウンタイム最小化を実現

「顧客レベルでの障害の切り分けは難しいため、まず当社のサポート部門が一括して、サポートについての依頼を受けることになります」と堀井氏。遠隔監視機能からのアラートも含め、ハードウェア障害であれば、リストックからエプソンに状況を伝えて、翌営業日に訪問修理で対応する体制を整えている。エプソンのサポート窓口は、電話とメールを柔軟に使いながら対応できるため、口頭ではミスの発生しやすいシリアルナンバーの確認や不具合の発生状況の共有もスムーズだ。「サーバーの冗長化など、障害対策を施すことが困難な環境の顧客が多いため、翌営業日対応というダウンタイムを最小化できる体制が用意できるのは、国内企業のエプソンならではの強みだと思います」と堀井氏はサポート面でもエプソンを評価している。

## 今後の展望

## 新しいビジネススタイルを支援。エプソンのPCの活用の可能性も

「貸出機を実際に運用したうえで販売協力を申し出てくださいと販売代理店も多く、今回開発したサーバーがエプソン製であることを歓迎する声もよせられています。ハードウェア、ソフトウェアの両面から評価の高いモデルになったのではないかと思います」という堀井氏によると、現在、リストックでは、Restec Server-Restec Security Systemとエプソンのモバイル端末を組み合わせたテレワーク向けソリューションや、建設・建築業、税理士、会計士など専門職に特化した新たなビジネスの可能性を模索しているという。「エプソンとの協業体制を活かし、新しいビジネススタイルにマッチしたソリューション、中小規模事業所向けのパッケージの開発などにも取り組んでいきたいですね」（堀井氏）。



サーバーの場合、ストレージの熱を効率的に冷却することが重要となるため、筐体前面の通気孔からフレッシュエアを吸い込み、ストレージの熱を集めて、CPUファンで筐体背面から排熱するエアフローを設計。ホコリの流入を最小限に抑えるため筐体側面の通気孔を塞ぎつつ、排熱性の共存を実現している。



## 【導入機種】 Endeavor SV1000

信頼性が高いインテル® Xeon® プロセッサとECC対応メモリーを搭載  
お客様のご使用に応じたBTO選択はもちろん、出荷時に個別カスタマイズにてご要望に対応

Endeavor SVシリーズ最新モデルの詳細はこちら >>  
[shop.epson.jp/pc/server/sv1000/](http://shop.epson.jp/pc/server/sv1000/)

※導入時の構成は販売当時のものです。記載内容が変更になっている場合や、PC本体、オプション、サポート等についても販売終了しているものもありますので、あらかじめご了承ください。

導入検討にあたり、お客様のご相談にお応えします。

お問い合わせ、お見積り、ご注文、支払い方法等のご相談も承ります。

エプソンダイレクト  
法人営業部

0120-989-664

■受付時間：(月～金曜日)9:00～18:00 ※祝日、当社指定休日は除く

エプソンダイレクト  
ホームページ

shop.epson.jp